

事業者ID	teitanso0A0086
-------	----------------

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020 年 9 月 16 日

(提出先)
横浜市長

住所 東京都港区三田三丁目5番27号
住友不動産三田ツインビル西館 6階

氏名 シナネン株式会社
代表取締役 安田貴志

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

1 特定電気供給事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	シナネン株式会社		
主たる事業所の所在地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館 6階		
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧 (電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧 (電灯)		
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	小売電力事業：オフィスビルや工場、倉庫等の特別高圧・高圧需要家や低圧需要家への電力小売事業を行っています。 発電事業：小売事業実施のために、群馬県及び静岡県、福島県に太陽光発電所を所有しています。 その他：省エネやコスト削減に関する、総合的な診断及び提案を行い、ワンストップでサポートしています。		
担当部署 連絡先	事業所名	シナネン株式会社	
	部署名	電力ソリューション営業部	
	電話番号	03-6478-7885	
	E-mail	sn-denki@sinanengroup.co.jp	

2 対象年度

提出年度 (当年度)	2020	年度
---------------	------	----

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを利用した電源開発及び電源調達をする事で、温室効果ガス排出量削減に努めています。 ・J-クレジットや非化石証書を活用し低排出係数メニューを作成し、二酸化炭素の低減に向けた試みを推進する。
--

4 推進体制

電力・ソリューション事業部にて下記の通り地球温暖化対策を推進しました。

- ・太陽光発電所から調達した電力を電力小売りに活用しました。
- ・低排出係数メニューを作成し、J-クレジットと非化石証書を購入、活用し二酸化炭素の低減に貢献しました。
- ・需要家の省エネ要望に応えるべく、改善に役立つような情報の提供しました。
- ・照明や空調等の設備改善の提案しました。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
公表方法	

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	HPに掲載

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

低排出係数メニューを作成販売し、低炭素電気を普及しました。

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input checked="" type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input type="radio"/> 対応不可
	備考	再生可能エネルギーを活用した電力を供給しています。

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの二酸化炭素の量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	2019年度	2020年度	2030年度
	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]
基礎排出係数		0.626	0.625	0.625
把握率 (%)		69.280	—	—
調整後排出係数		0.519	0.719	0.719
メニュー別排出係数	メニューA		0.000	0.000
	メニューB		0.288	0.290
	メニューC		0.362	0.390
	メニューD		0.390	0.490
	メニューE		0.490	
			0.550	
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由	火力発電からの購入があったため			
排出係数の抑制措置のための取組	環境負荷の低い電力の活用としてごみ処理場の余剰電力の購入は行いませんでした。 非化石証書やJ-クレジットの購入により環境価値の高い電力を需要家に提供する手段を選択しました。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO ₂]
全国総量			145,963
市内			5,993

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—	683,345	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)				
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
再生可能エネルギー (FIT電気)			51,812	7.6%
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
未利用エネルギー				

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	実績値 [t-CO ₂]		実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量				762

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

大手企業や自治体を対象とした低CO₂の電気に対するニーズに応えるためJ-クレジット及び非化石証書を購入し二酸化炭素の低減に貢献しており、今後も継続する。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

- ・使用電力の削減提案を実施
- ・照明や空調の使用方法、事務機器の利用方法のルール化等により、運用改善を実施
- ・照明や空調、給湯器、コジェネ等の設備改善の提案と「シナネンでんき」と商品化した低排出係数の電気のセット販売を実施